

$$\mathcal{T}[s_1 s_2] = \mathcal{T}[s_1] \mathcal{T}[s_2] \quad \mathcal{R}[s_1 s_2] = \mathcal{R}[s_2] \mathcal{R}[s_1]$$

図 1: 接続 (仮)

文の接続は、それぞれの文に変換を再帰的に適用する。このとき、順実行の文の順番は変わらないが、逆実行の文の順番は逆順に変わる。なぜなら、プログラム終了時の状態であるとき、文の実行を逆順に辿っていけば、開始時の状態に戻ることができるためである。